世界史研究所アンケート<パンデミックと世界史>

現今の COVID-19 の世界的広がり（パンデミック）の下で、人類は大きな試練に直面し、新たな進路を求められているように見えます。その中で、人間のさまざまな知的分野において、その方法、存在意義などについての見直しが始まっているように思われます。歴史学も例外ではないでしょう。歴史学の置かれた位置、その課題、方法などについて、皆さんは現在どのようにお考えですか。COVID-19 は世界的に影響を与えていますから、歴史学も世界史の問題としてこれに対応しなければならないと思います。そこで、世界史研究所は、歴史学にたずさわる皆さんが現在お考えのところをお尋ねし、広く問題意識を共有したいと考え、アンケートを実施することにしました。

さしあたり、下記のような設問を立ててみました。これでは不十分だとお考えのかたは、ご自由にお書きくださって結構です。

いただいたご回答は世界史研究所で取りまとめて、2021 年 2 月末に公表させていただきます。その際、ご回答いただいた方の氏名・所属などの公表は致しません。

2020 年 11 月 20 日

世界史研究所

・お名前（任意）

・関心のある分野（任意）

1. 過去のパンデミック　　われわれのこれまでの歴史（世界史）認識において、過去のパンデミックの扱いに問題はなかったでしょうか。歴史学は、過去のパンデミックからどういう教訓を汲むことができるとお考えですか。

2. 現在のパンデミック　　現在のパンデミックは、過去のものとどのような点で違うとお考えでしょうか。医学固有の問題は問わないとして、経済、社会、政治、文化的な側面でどうでしょうか。

3. 現在のパンデミックのもとで、人間の世界では、何が変わり何が変わらないと考えられるでしょうか。

4. 現在のパンデミックから得られる世界史の教育・研究への教訓はどのように考えられるでしょうか。歴史学の新たな課題は何でしょうか。
4-1. 歴史のテーマについてはどうでしょうか。

4-2. 歴史の方法についてはどうでしょうか。

5. その他自由にご意見をお書きください。